

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【公開番号】特開2003-226452(P2003-226452A)

【公開日】平成15年8月12日(2003.8.12)

【出願番号】特願2002-25945(P2002-25945)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 20/32

B 4 1 J 11/00

【F I】

B 6 5 H 20/32 Z

B 4 1 J 11/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月17日(2005.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷手段の上流側に、この印刷手段に媒体を搬送する搬送手段と、印刷手段の下流に媒体を停止させた状態で加工する加工手段とを有し、少なくとも印刷終了時および加工手段による加工時に搬送手段による媒体の搬送を停止する停止手段と、給送手段の運転時間を計数する計数手段とを設け、停止手段による媒体の搬送停止のうち、印刷終了による停止の場合には計数手段をリセットするが、上記加工時の停止ではリセットしないリセット手段を設けたことを特徴とする印刷装置。

【請求項2】

上記給送手段は、印刷装置に着脱自在に連結される給送装置に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の印刷装置。

【請求項3】

前記搬送手段と給送手段との間における媒体のたるみ量を検出するたるみ検出手段が設けられていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の印刷装置。

【請求項4】

前記検出手段が所定のたるみ量より少ないたるみ量を検出すると、前記給送手段の給送速度を搬送手段の搬送速度より遅い低速運転状態から搬送手段の搬送速度より速い高速運転状態に増速する増速手段を設け、増速する時に、前記計数手段で計数を開始することを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の印刷装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明による印刷装置は、印刷手段の上流側に、この印刷手段に媒体を搬送する搬送手段と、印刷手段の下流に媒体を停止させた状態で加工する加工手段とを有し、少なくとも印刷終了時および加工手段による加工時に搬送手段による媒体

の搬送を停止する停止手段と、給送手段の運転時間を計数する計数手段とを設け、停止手段による媒体の搬送停止のうち、印刷終了による停止の場合には計数手段をリセットするが、上記加工時の停止ではリセットしないリセット手段を設けたことを特徴とする。